

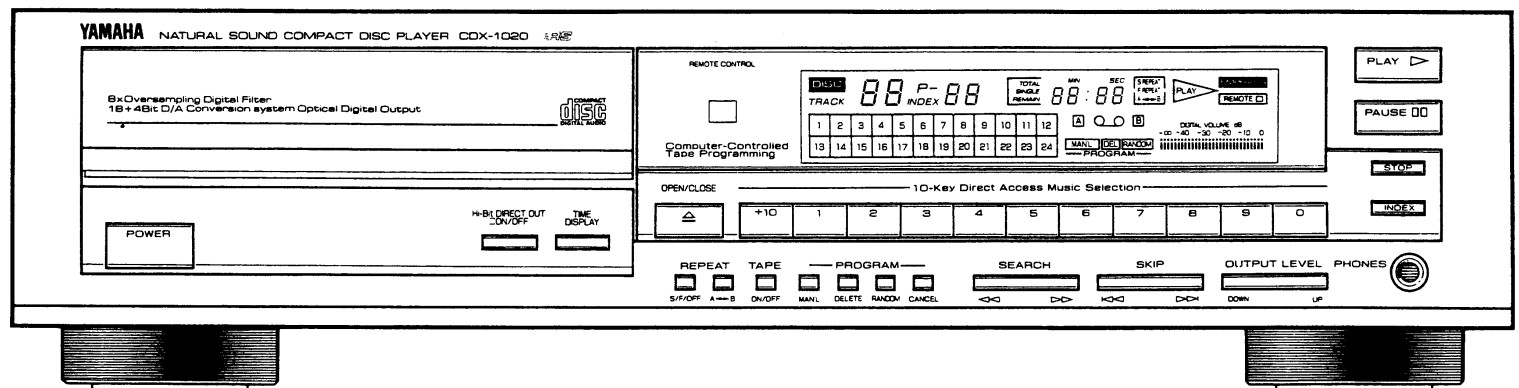
CDX-1020



NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

取扱説明書

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



YAMAHA

ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハコンパクトディスクプレーヤーCDX-1020をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

CDX-1020の優れた性能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますよう、お願いいたします。

お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

特長

本機はCD（コンパクトディスク）の持つ優れた音質を充分にお楽しみ頂けるよう、ヤマハ最新のデジタルオーディオ技術を結集して開発されたCDプレーヤーです。周波数特性2 Hz～20,000Hz±0.3dB、ダイナミックレンジ100dB以上、高調波歪率0.003%以下（1 kHz）、SN比120dB以上というオーディオ特性と、測定限界以下のワウフラッター特性などに裏付けされた精緻な音質を実現しています。

●Hi-Bitデジタル技術が息づく回路設計

8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター、Hi-BitツインD/Aコンバーターシステムなど、ヤマハ最新の高精度デジタル演算システム：Hi-Bit DIGITALの回路技術が随所に息づく本機は、デジタルステージでの原音の追求を新次元へと高めました。

●CDのクオリティを徹底追求

ディスクトレイ部に採用したアンチバイブレーション・フローティングサスペンションシステム、デジタルノイズのアナログ部への混入を排除するハイインピーダンス電流伝送システム（カレントアイソレート）は、原音のクオリティをいささかも損なうことなく再現しています。

●デジタルインターフェース時代に対応の出力系統

アナログ出力端子に加え、デジタル出力端子を装備、本格的なデジタルオーディオ時代に対応しています。

●マイコン搭載による多彩な演奏

CDの演奏をテープにダビングするときに便利な機能：CCTPを使ったテーププログラム演奏を始めとする各種のプログラム演奏、リピート演奏、インデックス演奏など、CDの多彩な演奏をシンプルなキーオペレーションで可能としました。

●演奏状態を常に確認できるFLディスプレイ

8桁のディスプレイにより演奏状態を的確に確認することができます。さらに、演奏状況が一目でわかるミュージックカレンダーも装備しています。

●リスニングルームで威力を発揮するリモコンユニットを標準装備

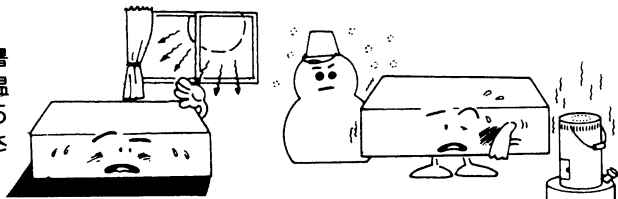
目次

特長	1
豊かなオーディオライフのために	2
ご使用のまえに	3
コンパクトディスクの取り扱い	4
接続のしかた	5
各部の名称とはたらき	7
リモコンユニットをご使用になるまえに	11
基本的な演奏	13
選曲再生のしかた	16
プログラム演奏	18
ランダム演奏	24
インデックス演奏	25
リピート演奏	26
タイマー演奏	27
故障かなと思ったら	28
参考仕様	29
ヤマハホットラインサービスネットワーク	30

豊かなオーディオライフのために

高温・低温はさけて！

窓際や直射日光の当たる場所、暖房器具のそばなど、極端に暑い場所(周囲温度30℃以上)や温度の特に低い場所(周囲温度5℃以下)に設置することは、さけてください。



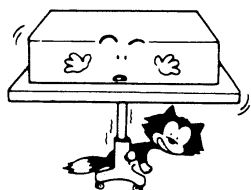
結露現象について

本機を、冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと動作部に露が生じ、本機の性能を十分に発揮できなくなる場合があります。このような場合には電源を入れる前に1~2時間程度放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

ほこり・水気をさけて！

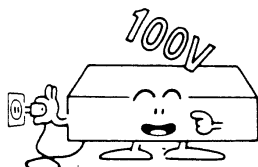


不安定な場所をさけて！

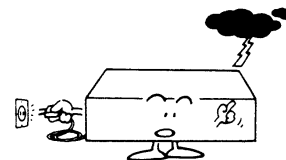


国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V

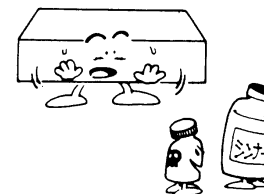


雷が近づいたら

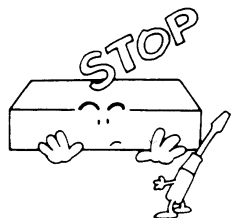


早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。

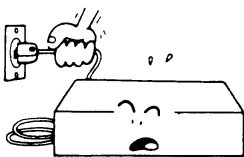
薬物厳禁



開けないで！



引っぱらないで！



保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

こわれた？



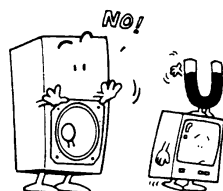
28ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

セットの放熱を妨げない

放熱を妨げないため、通気性の悪い場所には設置しないでください。



磁気・テレビはさけて！



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

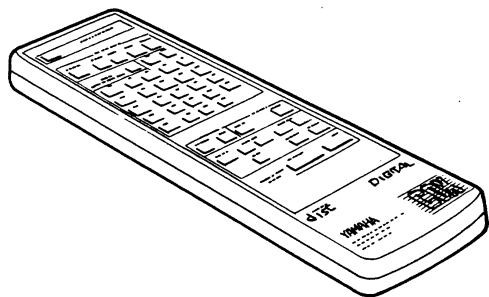
音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大空気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

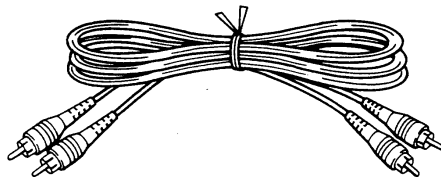
ご使用のまえに

■付属品を確認してください

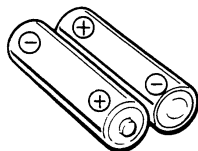
付属品は3点あります。



●リモコンユニット (RS-CD10)



●出力コード (アナログ、デジタル兼用ピンプラグコード2本)



●乾電池 単3 (SUM-3) 2本

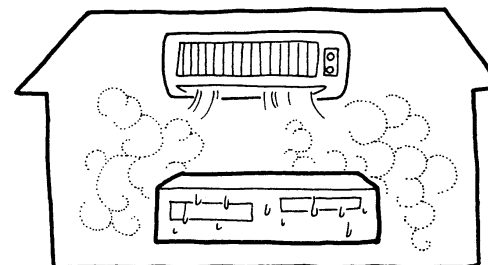
■本機の設置場所について

- 本機を設置する際は、振動のない水平な場所を選んでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には設置しないようにしてください。他のオーディオ機器と一緒にラックなどに入れる場合には、アンプなどから出る熱の影響を避けるため、アンプよりも下の棚に入れ、風通しを良くしてご使用ください。
- 本機の演奏中はチューナーから雑音が出たり、テレビの画面が乱れることがあります。そのようなときは、それらの機器と本機の距離を少し離すか、チューナーやテレビのアンテナを専用の屋外アンテナに変えてください。また、本機をご使用にならないときは、本機の電源スイッチを切ってください。

■結露現象について

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと、動作部やピックアップレンズに露がつきます。露がついたままでは信号の読みとり再生ができませんので、そのような場合は電源を入れて1～2時間そのままに放置し、本機を室温に保ち露が消えてから操作をしてください。

結露と同じ症状は、夏期のクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起きることがあります。その場合には本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてご使用ください。



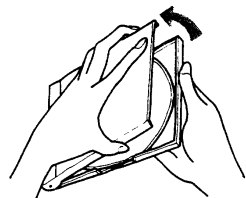
コンパクトディスクの取り扱い

本機は、コンパクトディスク(CD方式)専用のプレーヤーです。compact disc DIGITAL AUDIO マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

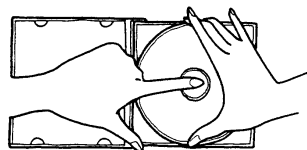
- 規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。規格外のディスクはご使用にならないでください。

ケースからの取り出し方

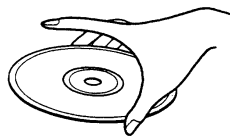
1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。



2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でコンパクトディスクを持ちあげます。



3. できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。



ディスクのセット

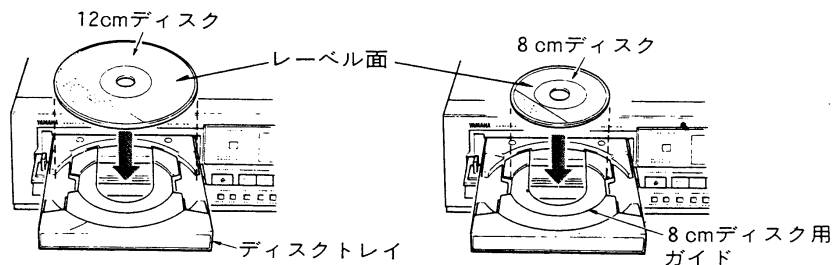
コンパクトディスクは、必ず文字の書かれているレーベル面を上にしてディスクトレイの中央に正しくセットしてください。(8cmディスクは8cmディスク用ガイドの中にセットします)

*コンパクトディスクの演奏は片面のみです。

*ディスクトレイにセットできるディスクは1枚だけです。複数のディスクをセットしますと、ディスクトレ

イが開いてしまう場合があります。

- 市販のディスクスタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく故障の原因になる場合がありますので、ご使用にならないでください。
- ディスクシート等を使用したディスクの場合は、正常に演奏できないことがあります。

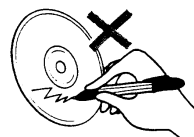


取り扱いの注意

- 信号記録面に指紋やほこりがつきましたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれは柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほこりやよごれは、音にはまったく影響ありません。



- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。



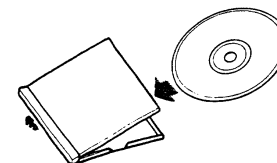
- 曲げたりしないでください。



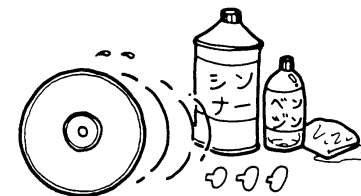
- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



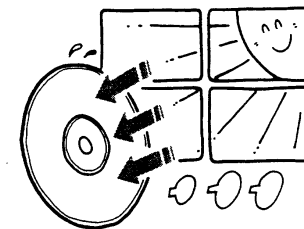
- 演奏を終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。



- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また、水に濡れた布で拭くことも避けてください。



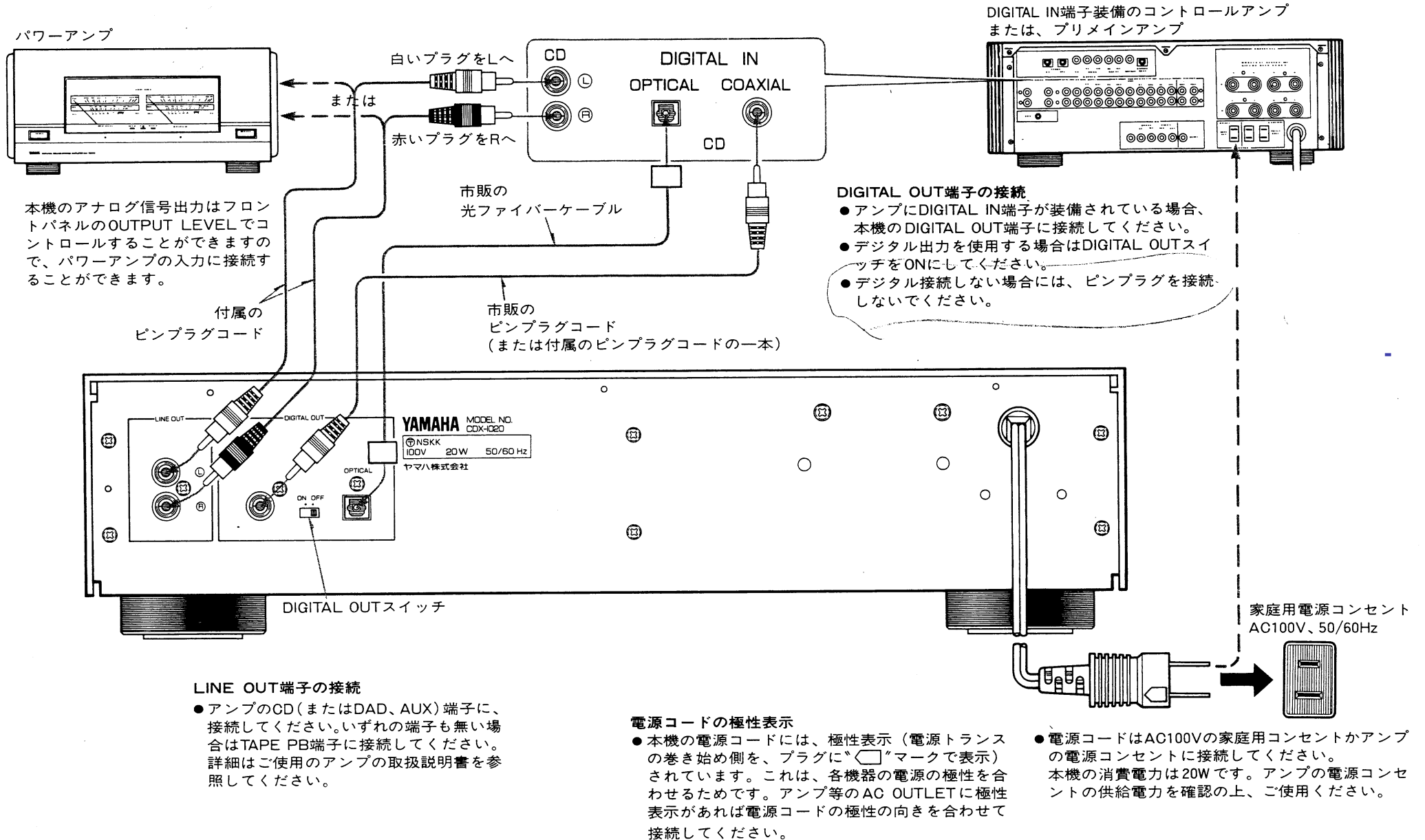
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所へ長時間置かないでください。コンパクトディスクを温度の高い場所に長時間放置すると変形などの原因となります。



接続のしかた

- 接続の際は各機器の電源を切り、右チャンネル(R)、左チャンネル(L)、を確認して正しく接続してください。

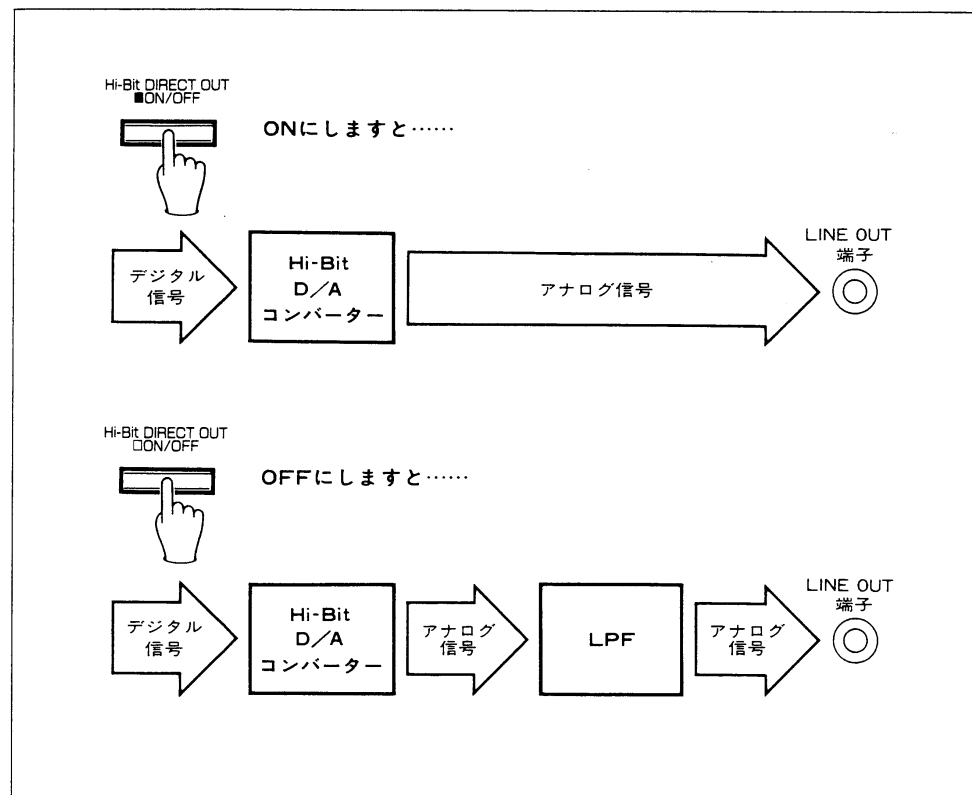
- 接続する機器によっては、端子名などが異なることがあります。接続する機器の取扱説明書もご参照ください。



■LINE OUT端子について

本端子に出力されるアナログ信号は、フロントパネルにあるHi-Bit DIRECT OUTスイッチにより、^{ハイビット}ダイレクト^{アウト}信号とフィルタード信号のどちらかを選択することができます。

Hi-Bit DIRECT OUTスイッチをONにしますと、8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター、Hi-Bit D/Aコンバーターを経由したアナログ信号がダイレクトに出力されます。またスイッチをOFFにしますと、LPF(ローパスフィルター)を経由したアナログ信号が出力されます。



■DIGITAL OUT端子について

本端子は^{デジタル}DIGITAL OUT^{アウト}スイッチをONにしますと、デジタル信号が出力されますのでデジタル入力端子を装備したアンプやD/Aコンバーターとデジタル信号をダイレクトに接続することができます。

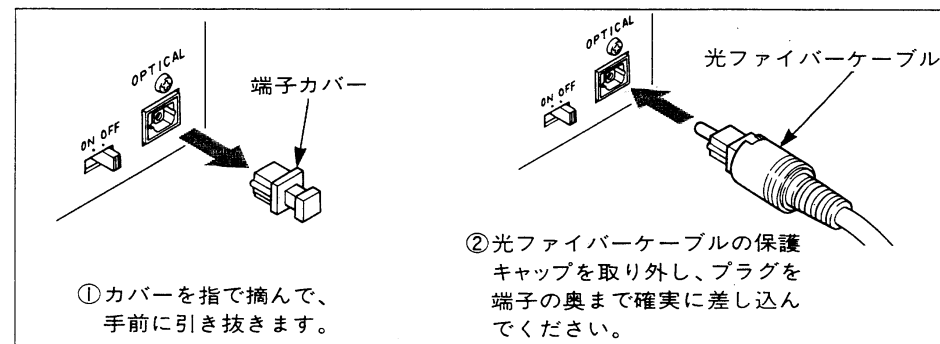
COAXIAL端子に接続する際は、市販のピンプラグコードまたは付属のピンプラグコードの一本を、^{コアキシャル}OPTICAL端子を接続する際は、市販の光ファイバーケーブルをご使用ください。

●OPTICAL端子の接続

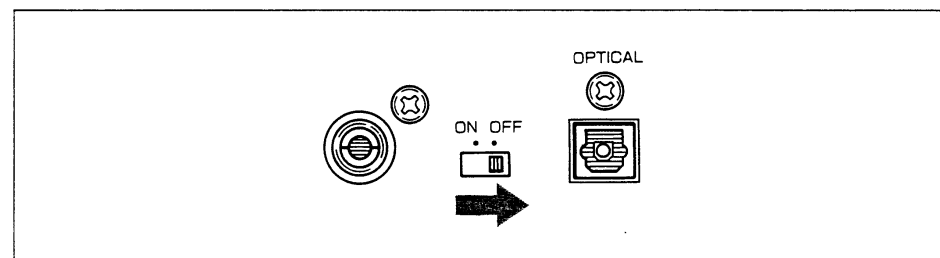
アンプにOPTICAL入力端子が装備されている場合、接続します。

※OPTICAL信号の規格があわないアンプに接続した場合、音が出ないことがあります。

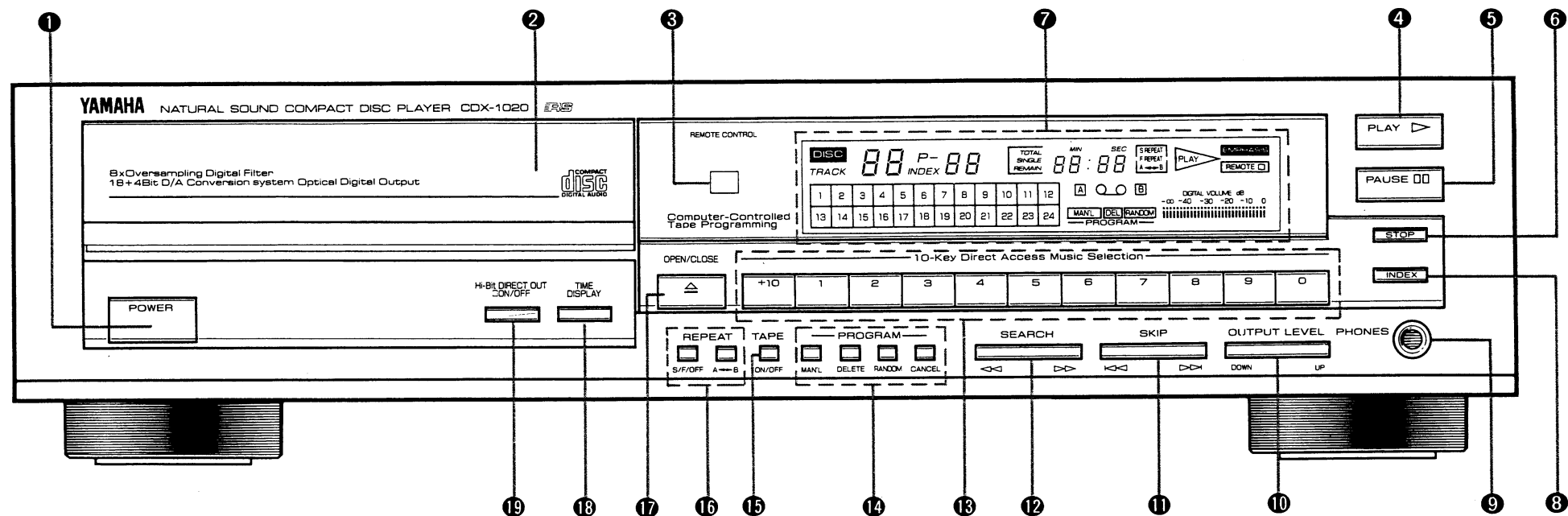
※本端子をご使用にならない場合は、ゴミやホコリの侵入を防ぐため必ず端子カバーをしてください。



●DIGITAL OUT端子をご使用にならない場合は、必ずDIGITAL OUTスイッチをOFFの位置にしておいてください。



各部の名称とはたらき



① POWERスイッチ

本機の電源をON、OFFするスイッチです。

② ディスクトレイ

ディスクをセットするところです。OPEN/CLOSEキーを押すと開き、もう一度押すと閉まります。

ディスクトレイは手で軽く押ししても、あるいはPLAYキーを押しても閉じることができます。

■電源がONの状態であれば、ディスクトレイの開閉はできません。

③ REMOTE CONTROL受光窓

リモコンユニットからの信号（赤外線）を受光する窓です。正しく受光しますと、REMOTE インジケーターが点灯します。

④ PLAYキー

演奏をスタートさせるキーです。

⑤ PAUSEキー

演奏中にこのキーを押しますと、その箇所で一時的に停止（ポーズ）します。ポーズ中はPLAYインジケーターが点滅します。

ポーズ中に再度このキーを押すかPLAYキーを押しますと、演奏が再開されます。

⑥ STOPキー

演奏中およびポーズ中にこのキーを押しますと、演奏はストップし、レーザーピックアップは1曲目の頭に戻ります。

⑦ ディスプレイ

演奏時間や演奏モードを表示します。

ディスク DISCインジケータ

ディスクトレイ内のディスクの有無を表示します。ディスクトレイにディスクが正しくセットされているときは、このインジケータが点灯します。

■ディスクをセットしてもこのインジケータが点灯しない場合は、ディスクが裏返しになっていないか、お確かめください。

トラック TRACK(曲番)インジケータ

演奏時やプログラム時に曲番を表示します。

ディスクをセットしてディスクトレイを閉じると、約3秒間、そのディスクに収録されている総曲数を表示します。

プログラム インデックス P-/INDEXインジケータ

プログラム曲番やインデックス番号を表示します。

トータル シングル リメイン TOTAL/SINGLE/REMAINインジケータ

TIME DISPLAYキーを押すごとに、時間表示がSINGLE(演奏経過時間)、SINGLE REMAIN(曲内残り時間)、TOTAL(総演奏時間)、TOTAL REMAIN(総残り時間)に変わります。それぞれの時間は、分(MIN)秒(SEC)単位で表示されます。

リピートインジケータ

リピート演奏の種類がS(一曲)リピート、F(全曲)リピートまたはA↔Bリピートかを表示します。

プレイ PLAYインジケータ

演奏中は点灯し、ポーズ中は点滅、ストップ時は消灯します。

エンファシス EMPHASISインジケータ

演奏している曲にエンファシスがかけられているとき、自動的に点灯します。

リモート REMOTEインジケータ

付属のリモコンユニットからの信号を受光すると点灯します。

アウトプット レベル OUTPUT LEVELインジケータ

OUTPUT LEVELキーで設定された出カレベルを表示します。

テープインジケータ

TAPEキーを押し、テープマニュアルプログラム及びテープランダムプログラムの際に"Q.O"が点灯します。またダビングされるテープ面、AまたはBを表示します。

ミュージックカレンダー

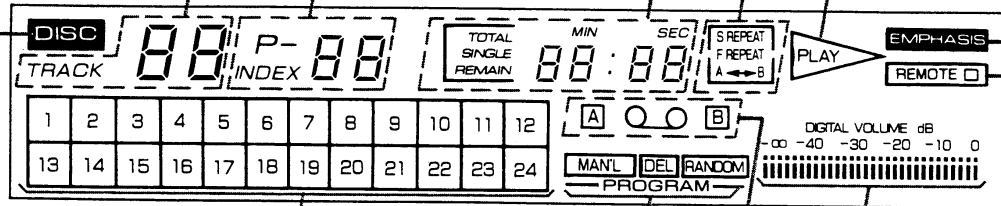
ディスクに収録されている曲数が点灯して表示されます。

プログラム PROGインジケータ

ランダム テープランダムプログラムがセットされているときまたはランダム演奏中に点灯します。

デリート DEL マニュアル マニュアルプログラムがセットされているときに点灯します。

MAN'L マニュアルプログラムがセットされているときに点灯します。



インデックス
⑧ INDEXキー

インデックス演奏をするときに使うキーです。(インデックス演奏→ページ25)

ホーンズ
⑨ PHONESジャック

ヘッドホンをこのジャックに接続しますと、演奏をモニターすることができます。
夜間などお一人でCD演奏を楽しむときなどに、活用ください。

アウトプット レベル
⑩ OUTPUT LEVELコントロールキー

リアパネルのアナログ出力端子の出力レベルおよびPHONESジャックに接続したヘッドホンの音量を調整することができます。

出力を上げる場合は、このキーのUP側を、下げる場合はDOWN側を押します。

* デジタル出力端子の出力レベルは調整できません。

* 一度設定されたレベルは電源がOFFになってもメモリーされています。

スキップ
⑪ SKIPキー

演奏中またはポーズ中に前後の曲の頭出しをするキーです。

プログラムのセットやチェック中はプログラム番号を呼び出すことができます。

* 押し続けると連続的に変化します。

* 曲番が表示されていないときは、このキーは働きません。

▷▷……………押すごとに次の曲の頭に移ります。

演奏時 : 次の曲の頭から演奏

ポーズ時 : 次の曲の頭でポーズ

ストップ時 : 押すごとに曲番が上がります。

◁◁……………1回押しますと、その曲の頭に戻ります。(曲の頭から1秒以内で押しますと、前の曲の頭に戻ります)

その後は押すごとに、前の曲の頭に戻ります。

演奏時 : その曲の頭から演奏

ポーズ時 : その曲の頭でポーズ

ストップ時 : 押すごとに曲番が下がります。

サーチ
⑫ SEARCHキー

演奏中またはポーズ中に早送りまたは早戻しをするキーです。

1秒以上押し続けると高速で早送りまたは早戻しされます。

▷▷……………早送りされます。

演奏時 : 音出し早送り

ポーズ時 : 音無し早送り

ストップ時 : 変化しません。

◁◁……………早戻しされます。

演奏時 : 音出し早戻し

ポーズ時 : 音無し早戻し

ストップ時 : 変化しません。

⑬ テンキー(+10、1~0の数字キー)

選曲やプログラムのセット時に曲番を指定するキーです。また、インデックス番号やCCTP(テーププログラミング機能)の際にテープのサイズをインプットするキーです。

プログラム
⑭ PROGRAMキー

聴きたい曲を任意の順番で演奏する(マニュアルプログラム→ページ18)ときや、聴きたくない曲を飛ばして演奏する(デリートプログラム→ページ20)場合に使います。また、CCTP(コンピューターコントロール・テーププログラム)を使ってテープダビングをするときに使います。(テープマニュアルプログラム→ページ21、テープオートプログラム→ページ22)

マニュアル
MAN'L……………マニュアルプログラムのセットや、チェックするときに使います。

デリート
DELETE……………デリートプログラムのセットや、チェックするときに使います。

ランダム
RANDOM……………テープランダムプログラムの自動セット、チェックするときに使います。ランダム演奏をするときも、このキーを使います。

キャンセル
CANCEL……………プログラムの全部を取り消すキーです。

テープ
⑮ TAPEキー

CCTPを使ってテープダビングをするときに、テープのサイズ(長さ)をインプットするときに使います。

⑯ ^{リピート} REPEATキー

リピート演奏をするときに押します。(リピート演奏→ページ26)

^{シングル}S/^{フル}F/^{オフ}OFF: 一曲リピート、全曲リピート、プログラムリピートの指定および解除をするときに使います。

^{エー}A↔^{ビー}B: A↔Bリピート(任意の2点間のリピート)の指定および解除をするときに使います。

*一曲リピートまたは全曲リピートを指定しますとA↔Bリピートが、A↔Bリピートを指定しますと一曲リピートまたは全曲リピートが解除されます。

*A↔Bリピートは演奏中あるいはポーズ中のみ指定することができます。

⑰ ^{オープン}OPEN/^{クローズ}CLOSEキー

ディスクトレイを開閉させるキーです。一度押すと開き、もう一度押すと閉じます。

⑱ ^{タイム}TIME ^{ディスプレイ}DISPLAYキー

時間表示のモードを切り換えるキーです。

キーを押すごとに、時間表示がSINGLE(演奏経過時間)、SINGLE.REMAIN(曲内残り時間)、TOTAL(総演奏時間)、TOTAL.REMAIN(総残り時間)に変わります。さらに押しますとSINGLE(演奏経過時間)表示に戻ります。

*ディスクのセット時はディスクの情報を読み込むまでの数秒間、TIME DISPLAYキーは働きません。

⑲ ^{ハイビット}Hi-Bit ^{ダイレクト}DIRECT ^{アウト}OUTスイッチ

このスイッチをONにしますと、インジケータが点灯し、リアパネルのLINE OUT端子にはHi-Bit D/AコンバーターでD/A変換されたアナログ信号が、LPF(ローパスフィルター)を経由せずにダイレクトに出力されます。

OFFにしますとLPFを経由した信号が出力されます。

試聴を繰り返し、お好みの方にスイッチを設定してください。

●一度設定されたスイッチの状態(ONまたはOFF)は電源がOFFになってもメモリーされています。

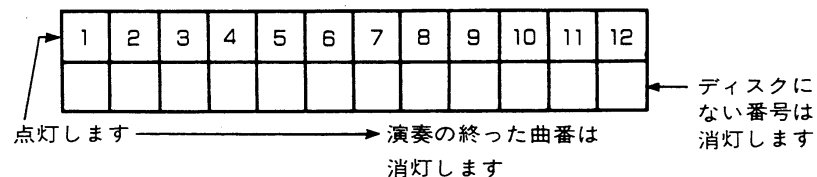
■ミュージックカレンダーについて

本機は演奏状況やプログラムの状況を一目で把握することのできる、便利なミュージックカレンダーを装備しています。

ディスクをセットしますと、ディスクに収録されている曲数に対応した番号が点灯します。演奏を終えた曲番は順次消灯します。

またプログラムの選曲時は、プログラムされた曲の曲番が点灯(デリートプログラム時は消灯)しますので、セットミスを防ぐことができます。

□例 12曲収録のディスクをセットした場合



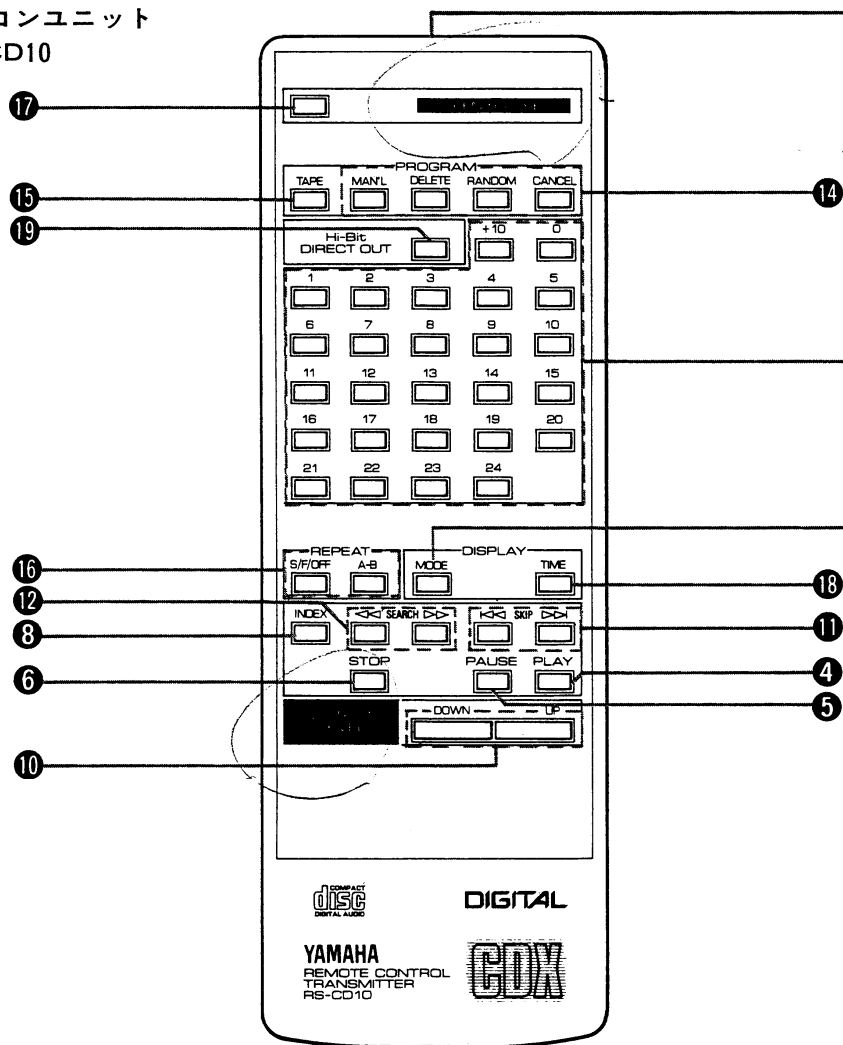
リモコンユニットをご使用になるまえに

付属のリモコンユニットRS-CD10をご使用になりますと、基本操作のほとんどが離れた場所から操作できます。

なお、信号は直進性の高い赤外線を使っていますので、受光窓との角度にご注意ください。

番号により示されているキーの機能は本体のキーと同様です。
「各部の名称とはたらき」(ページ7)をご参照ください。

リモコンユニット RS-CD10



送信窓

リモコン信号を送信する窓です。

ダイレクト選曲キー(テンキー)

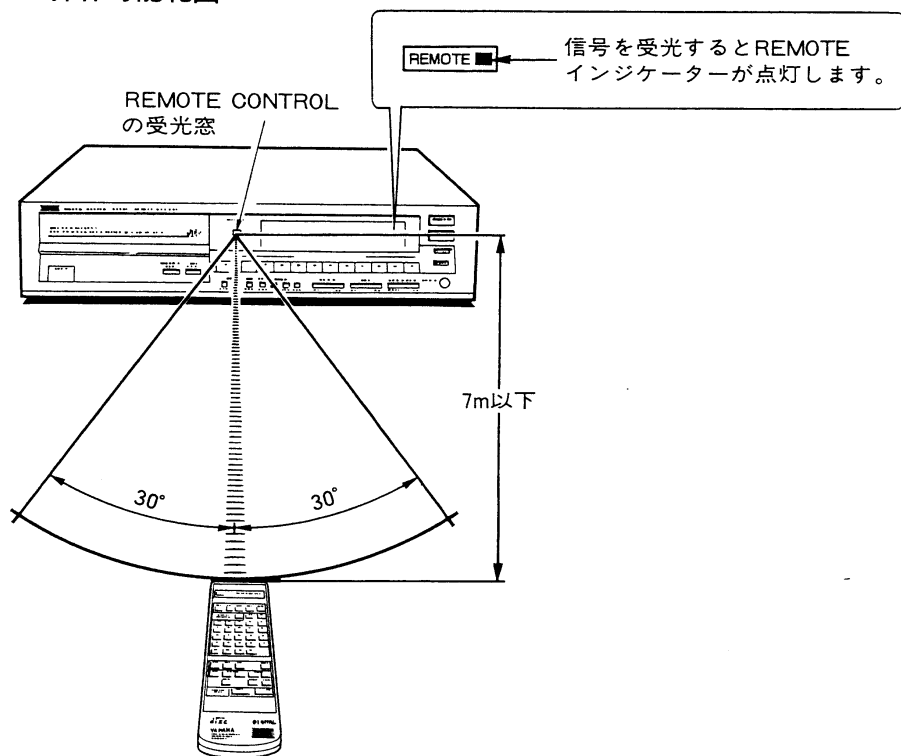
0から24まで、そして+10の数字キーです。演奏曲番をダイレクトに指定することができます。

モード ディスプレイ MODE DISPLAY

ディスプレイの表示を時間表示だけにするキーです。

■ リモコンについてのご注意

リモコン操作可能範囲



付属のリモコンは…

本機専用です。近くに他の機器が設置されていると、誤動作をおこすことがあります。リモコン操作によって誤動作する機器があるときは、その機器のリモコン受光部をふさぐか、設置場所を変えてください。

ていねいに扱ってください。

お茶や水をこぼしたり、強くたたいたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度や湿度の高い所に置かないようにご注意ください。

リモコン受光窓に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

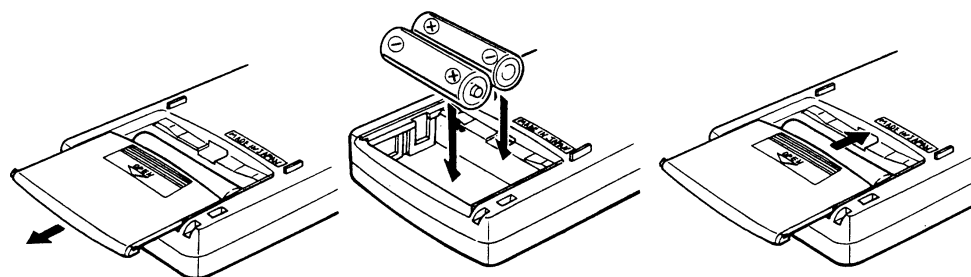
強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、働きにくくなります。

■ 電池の交換は

①リモコンユニットの裏のふたをはずします。

②SUM-3(単3)型乾電池(2本)の⊕⊖を正しく合わせて入れてください。

③電池をセットしましたらカチット音がするまでしめます。



電池の交換時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。電池がまったく消耗すると、ボタンを押してもREMOTEインジケータがつかなくなります。

■ 乾電池についてのご注意

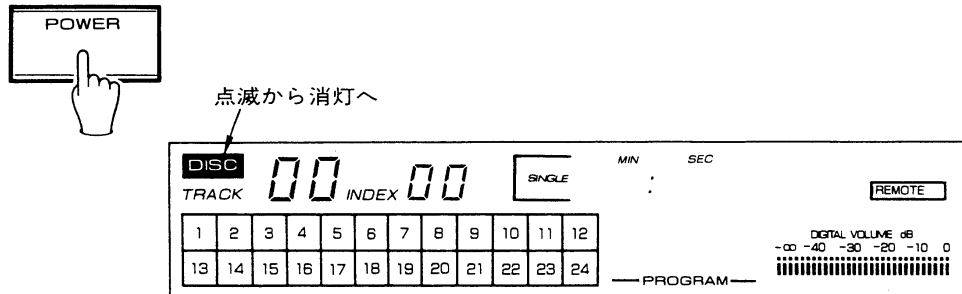
- プラス⊕とマイナス⊖の向きを、リモコンの電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 弱ってきた電池は、早めに交換してください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。
- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。
- 電池の⊕と⊖を金属片で直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 分解や加熱をしたり、火の中に入れてたりしないでください。万一液もれが起こったときは、電池入れについての液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

基本的な演奏

- 本取扱説明書では12曲収録のディスクを例に説明しております。
- リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

CDは従来のアナログレコードやテープ再生時のような演奏前のノイズがほとんどありません。演奏スタートと同時に大音量となることがありますので、アンプのボリュームの位置にご注意ください。

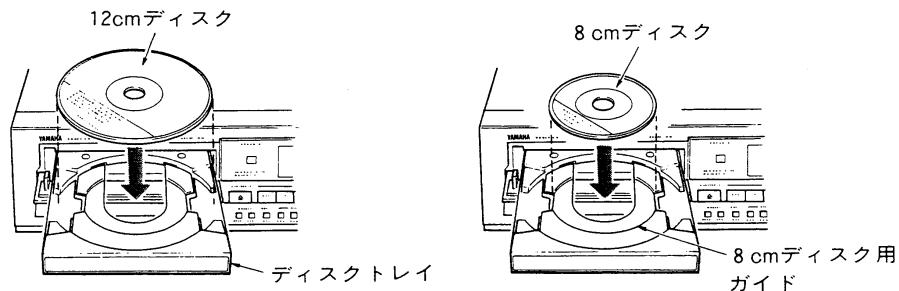
1 POWERスイッチを押し、電源を入れます。



2 OPEN/CLOSEキーを押し、ディスクトレイを開けます。

3 ディスクをケースから取り出し、レーベル面を上にしてディスクトレイに入れます。(8 cmディスクは8 cmディスクガイドの中に入れます。)

- レーベル面の反対側が音の記録面です。(記録面は片面だけです。)
- ディスクトレイにセットすることのできるディスクは1枚のみです。複数のディスクをセットしますと、ディスクトレイが開いてしまう場合があります。

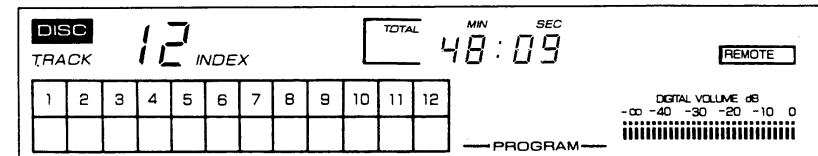


4 OPEN/CLOSEキーを押します。

ディスクトレイが閉まり、ディスクに収められている情報を読み込む数秒間、DISCインジケータが点滅、その後点灯に変わります。ディスプレイは、そのディスクに収められている総曲数と総演奏時間を約3秒間表示し、ストップ状態になります。同時にミュージックカレンダーはセットされたディスクに収録されている曲数を点灯表示します。

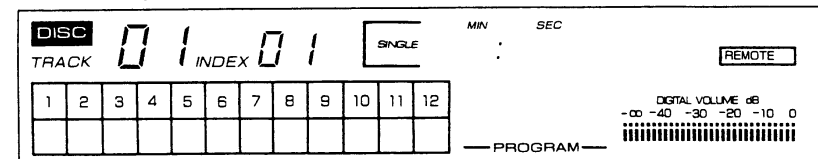
- ディスクをセットしてもDISCインジケータが点滅後消灯し、曲番00を表示するときは、ディスクが裏返しになっていないか確認してください。

例 総曲数12曲、総演奏時間48分9秒のディスクをセットすると



約3秒後 ↓

ストップ状態

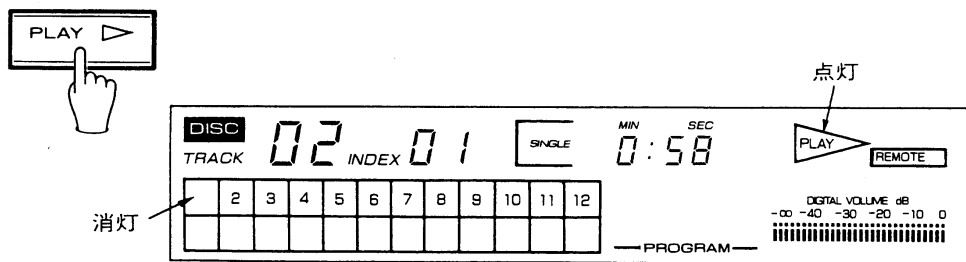


- ディスクがディスクトレイにセットされている場合には、電源を入れると総曲数、総演奏時間を表示せずにただちに演奏を開始します。
- ディスクトレイは、OPEN/CLOSEキーを押さずに、PLAYキーを押すか、ディスクトレイを軽く手で押しでも閉じることができます。この場合にも総曲数、総演奏時間を表示せずに、ただちに演奏を開始します。

5 PLAYキーを押します。

PLAYインジケータが点灯し、ディスクの1曲目から最後の曲まで演奏します。ディスプレイは曲番と曲ごとの演奏経過時間を表示します。また演奏が終了したミュージックカレンダーの曲番は順次消灯し、最終曲までの演奏が終了しますと自動的にストップ状態（1曲目の頭で待機）になります。

例 2曲目の演奏開始後58秒経過



- ディスクにキズなどがありますと、演奏開始が遅れたり、曲の途中から演奏することがあります。
- 偏芯したディスクは演奏中に異音を発することがありますので、ご使用にならないでください。
- 演奏中は本機を動かさないでください。演奏中のディスクは高速で回転しています。このとき本機を持ち上げたり、動かしたり、衝撃を与えたりしますと、ディスクに傷を付ける恐れがあります。本機を移動する場合は演奏を中止し、ディスクを必ず取り出してください。

ご注意

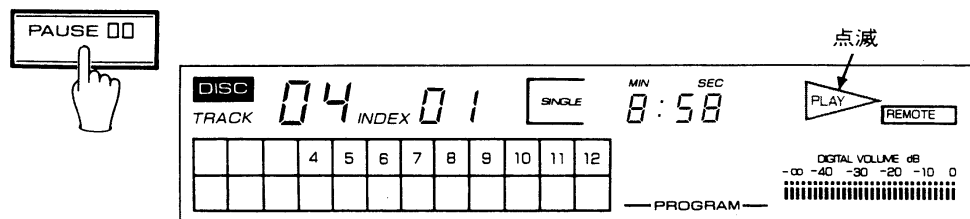
- ディスクトレイに不要物などを入れますと故障の原因となります。
- ディスクトレイが動作している間は、手で無理に開閉しないでください。

演奏を一時停止させるときは

PAUSE キーを押します。

キーを押したところで一時停止（ポーズ）し、PLAYインジケータが点滅します。再び演奏を始めるときには、もう一度PAUSEキーを押すか、PLAYキーを押してください。

例 4曲目を演奏中、8分58秒でポーズ



演奏をストップさせるときは

STOPキーを押します。

PLAYインジケータが消灯し、演奏がストップします。ピックアップはディスクの1曲目の頭で待機します。



ディスクをとりだすには

OPEN/CLOSEキーを押します。

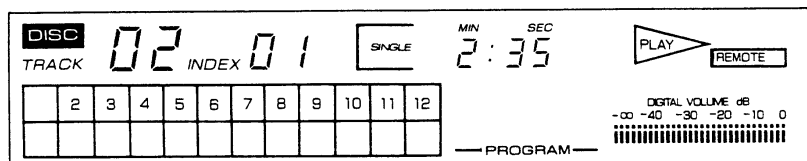
ディスクトレイが出てきます。ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めてください。

- OPEN/CLOSEキーはPOWERスイッチ以外のすべてのキー機能に優先します。例えば演奏中でもこのキーを押せば、演奏はストップしディスクトレイが開き、ディスクを取り出すことができます。このような場合も本体、ディスクに対して何らの支障はありません。
- 本機をご使用にならないときは、ゴミやホコリを防ぐため、必ずディスクトレイは閉めておいてください。

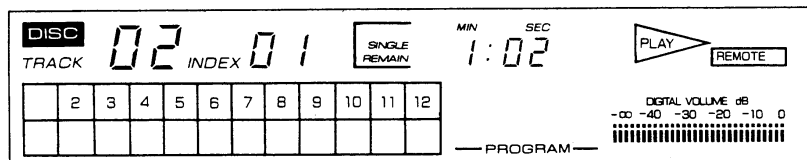
■ディスプレイについて

TIME DISPLAYキーを押すごとに、表示内容が切り換わります。

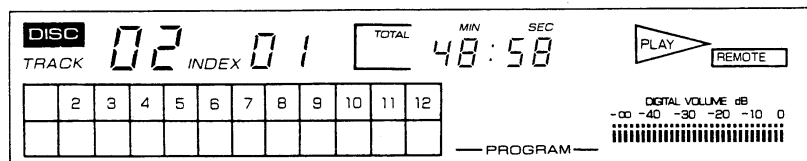
SINGLE 例 2曲目を演奏中、2分35秒経過



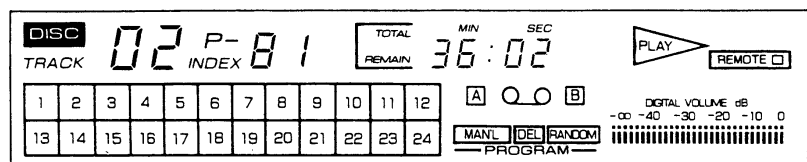
SINGLE REMAIN 例 2曲目を演奏中、2曲目の演奏終了まで、あと1分2秒



TOTAL 例 2曲目を演奏中、ディスク（プログラム）の総演奏時間は48分58秒



TOTAL REMAIN 例 2曲目を演奏中、演奏終了まで、あと36分2秒



- REMAIN TIMEおよびTOTAL TIMEが99分59秒を超えた場合は、100分代を省いて表示されます。
- ストップ時はSINGLE、SINGLE REMAINおよびTOTAL REMAINは表示されません。
- ランダム演奏中のTOTAL REMAINは“—：—”となります。

■いろいろな演奏をお楽しみいただけます。下記のリストをご参照ください。

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| | 参照ページ |
| ● ディスクの始めから終わりまで通して聴きたい | ⇨ 基本的な演奏 13 |
| ● ディスクの途中の曲から聴きたい | ⇨ 選曲再生のしかた 16 |
| ● ディスクの中の何曲かだけを聴きたい | ⇨ マニュアルプログラム 18 |
| ● ディスクの中のある曲を飛ばして聴きたい | ⇨ デリートプログラム 20 |
| ● ディスクをカセットテープに録音したい | ⇨ テープマニュアルプログラム 21 |
| | ⇨ テープランダムプログラム 22 |
| ● 気分を変えて、たまには演奏順を本機にまかせたい | ⇨ ランダム演奏 24 |
| ● 曲の途中のある楽章 (INDEX) から聴きたい | ⇨ インデックス演奏 25 |
| ● ディスクの中のある一曲を繰り返して聴きたい | ⇨ 一曲リピート 26 |
| ● ディスクの始めから終わりまで通して繰り返して聴きたい | ⇨ 全曲リピート 26 |
| ● ディスクのある部分を繰り返して聴きたい | ⇨ A↔Bリピート 27 |
| ● CD演奏を目覚ましにしたい | ⇨ タイマー演奏 27 |

選曲再生のしかた

選曲再生にはSKIPキーを使うスキップ選曲と、テンキーを使うダイレクト選曲の2種類があります。

■演奏を開始する前や演奏中およびポーズ中の選曲

スキップ選曲…SKIPキーを使います。

▷▷ ……キーを押すごとに次の曲の頭に移ります。押し続けると連続的に、最終曲の頭までスキップします。

◁◁ ……キーを一回押しますと、その曲の頭に戻ります（曲の頭から1秒以内に押しますと、前の曲の頭に戻ります）。

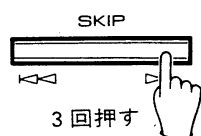
その後はキーを押すごとに前の曲の頭に戻ります。押し続けると連続的に、曲番1までスキップします。

ダイレクト選曲…テンキーを使います。

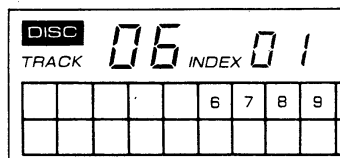
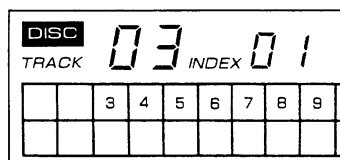
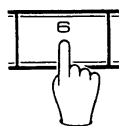
演奏したい曲番をテンキーで指定しますと、ダイレクトに選曲することができます。

- ディスクに収録されている曲数より大きな番号を指定した場合は、自動的に最終曲番が選曲されます。
- 選曲操作はディスクトレイが開いた状態でも行えます。

■例 曲番3を演奏中に、曲番6を演奏するとき



または



- 演奏中に選曲した場合は、選曲後にその曲を自動的に演奏します。
- ポーズ中に選曲した場合は、選曲された曲の頭でポーズ状態になります。

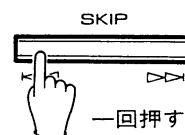
- 本取扱説明書では12曲収録のディスクを例に説明しております。
- リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

■演奏中の曲の頭に戻るとき

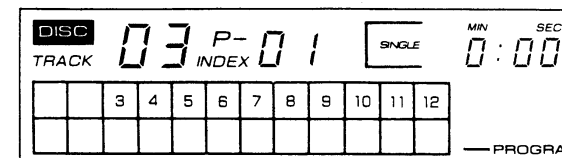
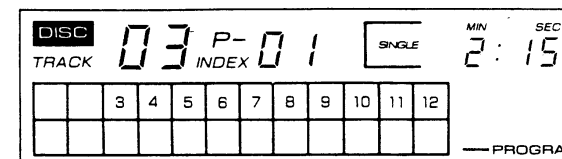
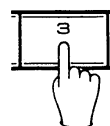
SKIPキー ◁◁…一回押します。

テンキー：演奏している曲の番号を押します。

▶例 曲番3を演奏中に、曲番3の頭から演奏しなおすとき



または



■早送りと早戻し

- 演奏中またはポーズ中に“▷▷”“◁◁”キーを使って、早送り・早戻しをすることができます。

■演奏中（音出しサーチ）

“▷▷”または“◁◁”キーを押し続けると、始めの約1秒間は低速で、その後は高速で早送り・早戻しすることができます。キーを押している間は、再生音を小さな音（約1/4）で聞くことができます。指を離れたところから演奏が再開されます。

- “▷▷”キーを押し続けて、最終曲の終わりまでサーチしますと、ストップ状態になります。

■ポーズ中（音無しサーチ）

“▷▷”または“◁◁”キーを押しますと早送り・早戻しができますが、ポーズ中はモニター音は出ません。

■ストップ状態

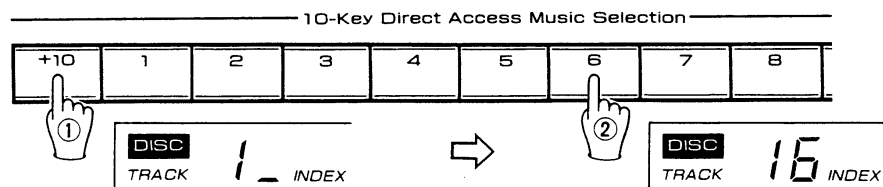
“▷▷”あるいは“◁◁”キーを押しても、変化しません。

テンキーによる操作について

曲番10以上の曲を選曲する場合には、+10キーを押しますと、1_と表示がでます。その後に1の位のキーを押します。

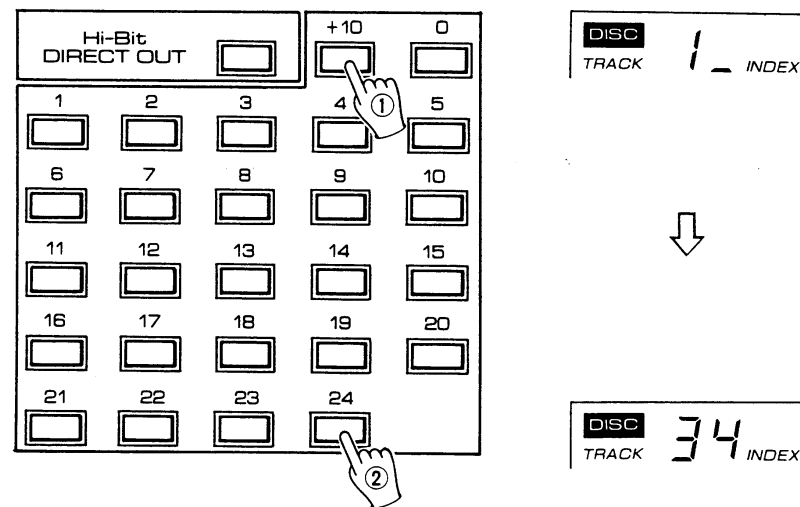
例 本体の10キーで曲番16を選曲する場合

- ① +10キーを押します。
- ② 6キーを押します。



例 リモコンユニットのダイレクトキーで曲番34を選曲する場合

- ① +10キーを押します。
- ② 24キーを押します。



■ +10キーについて

- 曲番のセット時は`+10`キーを押すごとに`1_` `2_`と変わりますが、セットされたディスクに集録されていない2桁は表示せず、`0_`に戻ります。
- インデックスやテープサイズのセット時は、`+10`キーを押すごとに`1_` `2_` `3_`と変わり、`9_`の次に押しますと`0_`となります。
- +10キーを押した場合には1の位が入力されるまで、約4秒間保持されます。1の位が入力されないまま約4秒経過しますと、自動的に1の位を`0`として演奏を開始します。

- ストップ状態や、ディスクトレイが開いた状態で+10キーを押し、1の位を入力しないままPLAYキーを押しますと一曲目から演奏します。
- 演奏中に+10キーを押し、1の位を入力しないままに`▷◁` `◀▶`キーを操作しますと、表示とは異なり`▷◁` `◀▶`キーによって指定された曲が演奏されます。

プログラム演奏

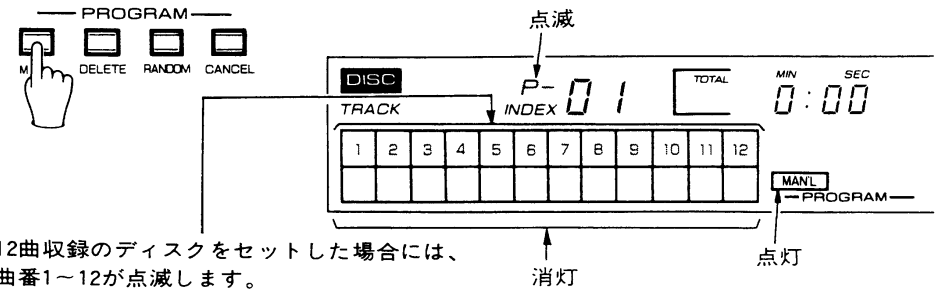
- プログラム演奏には下記の4種類があります。
 - マニュアルプログラム……ディスクに収録されている曲の中から、任意の曲を任意の順番で演奏します。
 - デリートプログラム……ディスクに収録されている曲の中から、聴かない曲を飛ばして演奏します。
 - テープマニュアルプログラム……マニュアルプログラムをテープにダビングする場合、入力されたテープの収録時間に合わせて本機内蔵のテーププログラミング機能:CCTPが自動的にポーズを設定し演奏します。
 - テープランダムプログラム……テープの収録時間に合わせて、本機内蔵のテーププログラミング機能:CCTPが自動的にプログラムをセットし演奏します。
- プログラムのセット、チェック、変更、キャンセルは、ストップ状態で行ってください。
- プログラム演奏時は、オートスペース機能の働きにより、曲間に4秒間のスペース（無音部分）が自動的に挿入されます。

- 本取扱説明書では12曲収録のディスクを例に説明しております。
- リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

- 1 ストップ状態にします。
 - 演奏中のときは、STOPキーを押します。



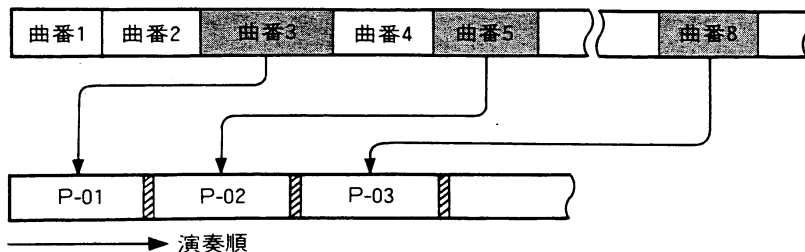
- 2 PROGRAMのMAN' Lキーを押します。
 - ディスプレイにP-01の表示が出て、P-01にプログラムセットができることを示します。また“P-”インジケータはプログラムセット中、点滅します。
 - このときミュージックカレンダーはディスクの収録曲番が点滅、収録されていない曲番は消灯します。消灯している曲番はプログラムセットできません。



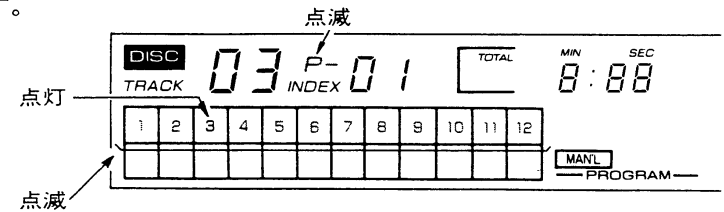
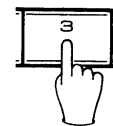
マニュアルプログラム

ディスクに収録されている曲の中から最大24曲まで、任意の曲を任意の順番で演奏することができます。

例 次のようなプログラムは



- 3 プログラムする曲をテンキーで選曲します。
 - この場合は3です。

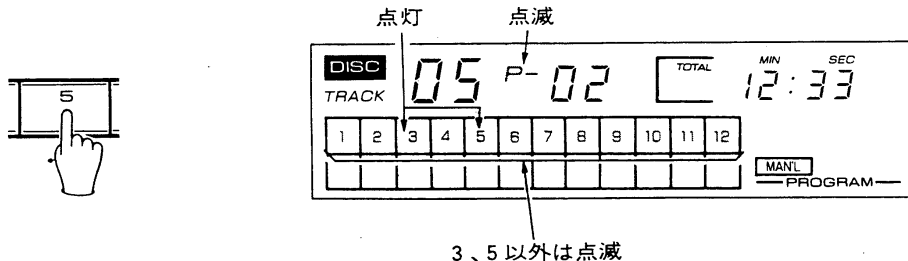


- ミュージックカレンダーには選曲された曲番が点灯します。(3を除く1~12は点滅)
- 同時にプログラム曲番が消灯し、“P-”インジケータは、次のプログラム番号を表示します。

4 再び希望の曲を選曲します。

この場合は5です。

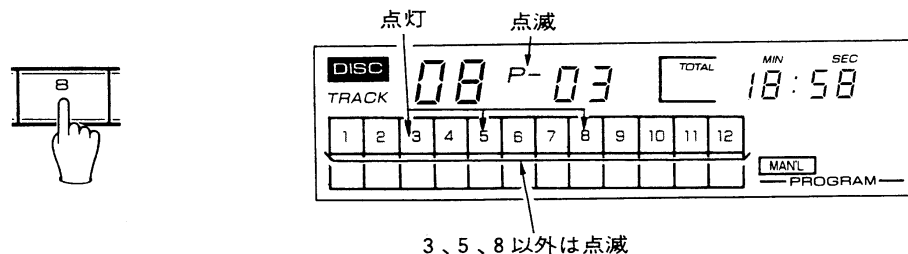
- 同様にミュージックカレンダーの曲番が点灯に変わります。



5 再び希望の曲を選曲します。

この場合は8です。

- 同様にミュージックカレンダーの曲番が点灯に変わります。



6 プログラムのセットを終える場合にはMAN'Lキーを押します。

ディスプレイの「P-」が点滅から点灯に変わります。また点滅していた曲番は消灯し、プログラムのセットが完了したことを示します。



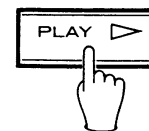
- 同様の方法で、最大24曲までプログラムすることができます。
- 24曲までセットしますと、自動的にP-01に戻り演奏スタンバイ状態になります。
- 希望の曲がすべてセットできたかどうか、ミュージックカレンダーの曲番の点灯で確認してください。
- プログラムのセットはPAUSE、STOPキーを押しても終わることができます。
- PLAYキーを押しますと直ちにプログラム演奏がスタートします。
- PAUSEキーを押しますとプログラムの1曲目の頭でポーズとなります。

プログラムのセット中は、曲間に4秒間を自動加算したプログラムの総演奏時間が表示されます。

7 PLAYキーを押しますと演奏がスタートします。

PLAYインジケーターが点灯し、演奏がスタートします。ディスプレイは演奏中の曲番とプログラム番号を表示します。

- 演奏を終えたミュージックカレンダーの曲番は、消灯します。



8 演奏が終了しますと、自動的にP-01に戻り演奏スタンバイ状態になります。

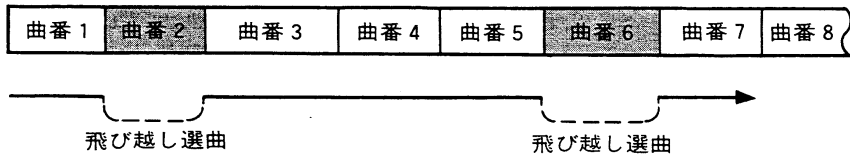
- マニュアルプログラム演奏終了後にCANCELキーを押しますと、プログラムは解除されストップ状態になります。

- インデックスのプログラム演奏はできません。
- プログラムの総演奏時間が99分59秒を越えた場合、TOTALとTOTAL REMAINは100分代の数字を除いた表示をします。
- プログラム演奏で曲番が25以上の曲をプログラムしたときは、TOTALとTOTAL REMAINは"—：—"と表示されます。

デリートプログラム

ディスクに収録されている任意の曲を飛ばして演奏することができます。

例 ディスクの曲番2と曲番6を飛ばして演奏するには

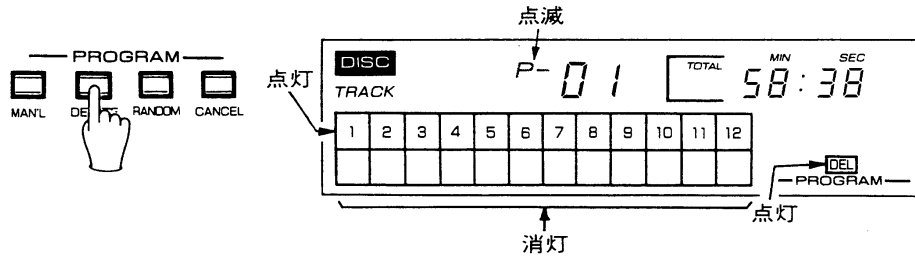


1 ストップ状態にします。

- 演奏中のときはSTOPキーを押します。

2 PROGRAMのDELETEキーを押します。

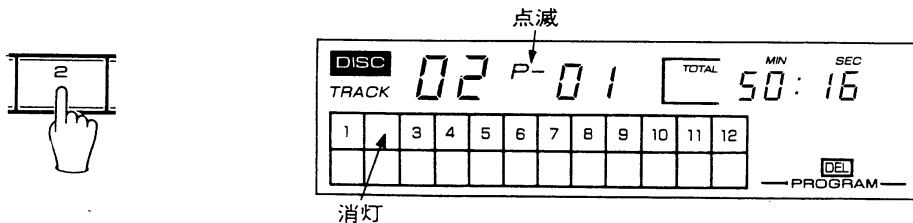
“P-”インジケータが点滅、P-01にデリートプログラムがセットできることを示します。ミュージックカレンダーのディスクの収録曲番が点灯します。



3 演奏しない(飛ばす)曲番をテンキーで指定します。

この場合は2です。

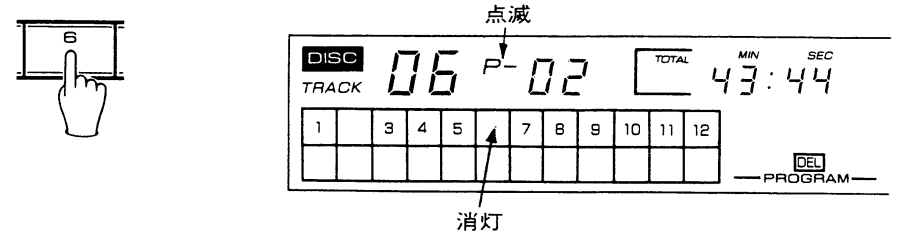
P-01に曲番2がセットされ、ミュージックカレンダーの曲番2が消灯します。



4 再び演奏しない曲番を指定します。

この場合は6です。

P-02に曲番6がセットされ、ミュージックカレンダーの曲番6が消灯します。



5 デリートプログラムのセットを終える場合はDELETEキーを押します。

“P-”インジケータが点滅からINDEX点灯に変わり、デリートプログラムのセットが完了したことを示します。

- デリートプログラムのセットはPAUSE、STOPキーを押しても終わることができます。またPLAYキーを押しますと直ちに演奏がスタートします。

*PAUSEキーを押しますと、デリートプログラムされなかった最小の曲番の頭でポーズとなります。



プログラムのセット中は、曲間に4秒間を自動加算したデリートプログラムの総演奏時間が表示されます。

6 PLAYキーを押し、デリートプログラムを演奏します。

この場合は、ディスクの1曲目から演奏が始まり、2曲目と6曲目を飛ばして順次演奏します。



- デリートプログラム演奏終了後にCANCELキーを押しますと、プログラムは解除されストップ状態になります。

テープマニュアルプログラム

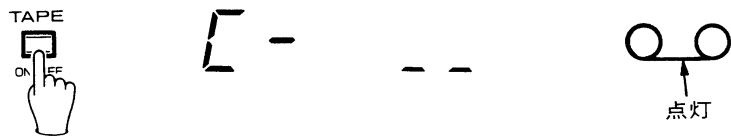
テープにダビングをするとき、本機にテープサイズをインプットしておきますと、テープの収録時間に合わせた録音ができます。

- テープマニュアルプログラムのまえに、CDの演奏をダビング(録音)できるように各機器のスイッチや録音レベルなどをセットしてください。

1 STOPキーを押し、ストップ状態にします。

2 TAPEキーを押します。

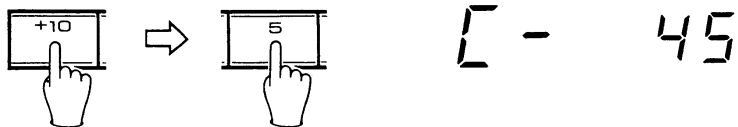
ディスプレイに「C-」が表示され、テープサイズのインプットができます。また○○が点灯します。



3 テンキーでテープサイズ(テープの長さ)をインプットします。

例) 接続したカセットデッキにセットしたテープが45分テープの場合は+10、+10、+10、5と押します。

*MAN'Lキーを押すまではテープサイズの変更ができます。

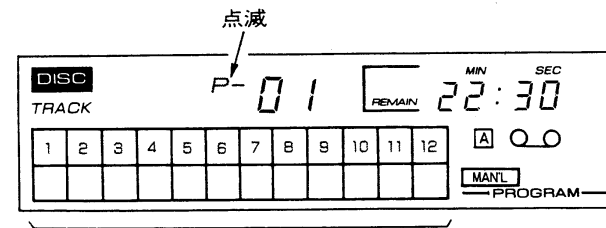
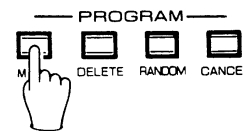


4回押す

4 PROGRAMのMAN'Lキーを押します。

テープサイズのインプットが完了し、マニュアルプログラムのセットモードと

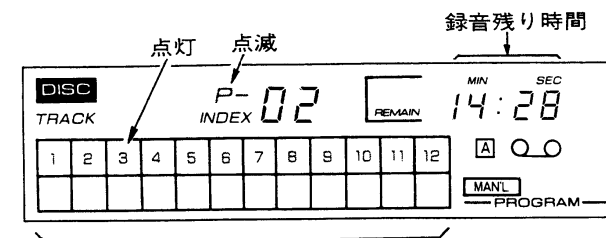
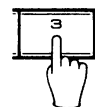
なり「P-」が点滅、ディスプレイはテープの録音残り時間を示すREMAIN TIME表示となります。



収録されている曲のうちで、録音残り時間より短い曲番のみ点滅します。録音残り時間より長い曲番は消灯して、プログラムできません。

5 テープA面にダビングしたい曲番をテンキーで選曲します。

この場合は3です。



収録されている曲のうちで、録音残り時間より短い曲番のみ点滅します。録音残り時間より長い曲番は消灯して、プログラムできません。

6 録音残り時間と点滅しているミュージックカレンダーを見て、ダビングしたい曲番を順次テンキーで選曲します。

- 選曲されたプログラムの演奏時間がテープのA面(最初にセットしたテープ面)の録音時間をオーバーした場合には、選曲時に「Err」が表示されて、プログラムできません。ミュージックカレンダーに点滅している曲番をプログラムしてください。点滅する曲番がなくなった場合は、これ以上プログラムすることはできません。
- 録音残り時間は、曲間の4秒が自動的に減算されています。

7 テープA面のプログラムセットを終える場合は、MAN'Lキーを押します。



8 テープB面にプログラムするときは、5、6、7と同じ手順でセットしてください。

9 PLAYキーを押しますと、テープマニュアルプログラムの演奏がスタートします。

接続したアンプやカセットデッキを操作して録音してください。

- 演奏中にPLAYインジケータが点滅しポーズ状態になりましたら、カセットデッキを操作し、録音中のテープの面を変えてください。

PAUSEあるいはPLAYキーを押すと演奏を再開します。

*演奏中にSKIPキーを操作しますと、自動的なポーズにはなりません。

- テープマニュアルプログラムでプログラムできる曲は原則として1曲から24曲目までですが、例外として25曲入りディスクのときのみ25曲目もプログラムすることができます。
- テープマニュアルプログラムを変更、削除および解除するときは、ページ23をご参照ください。
ただし、変更するプログラムの総演奏時間が、テープの片面の収録時間を越える場合には、変更することはできません。
- テープサイズの変更はプログラムのセット後にはできません。

テープランダムプログラム

テープサイズをセットしRANDOMキーを押すだけで、本機がテープに収録できる曲を自動的に選曲、プログラムします。

1 STOPキーを押し、ストップ状態にします。

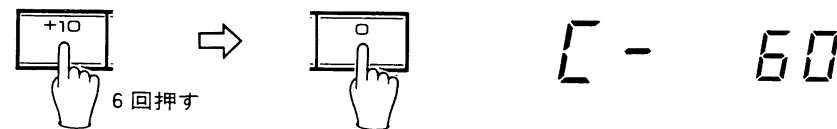
2 TAPEキーを押します。

ディスプレイに「C-」が表示されテープサイズのインプットができることを示します。また Q O が点灯します。

3 テンキーでテープサイズ(テープの長さ)をインプットします。

例) 接続したカセットデッキにセットしたテープが60分テープの場合は+10、+10、+10、+10、+10、+10、0と押します。

*RANDOMキーを押すまではテープサイズの変更ができます。



4 PROGRAMのRANDOMキーを押します。

テープサイズのインプットが完了し、CCTP (コンピューターコントロールテーププログラミング) の働きにより、瞬時にテープA、B両面のプログラムを行います。



ディスプレイに曲番およびプログラム番号が表示されましたら、プログラム完了です。プログラムがすべてテープA面に収録される場合には[A]インジケータが点灯します。

5 PLAYキーを押して本機の演奏、およびダビングをスタートします。

- テープランダムプログラムでプログラムできる曲数は、原則として1曲から24曲目までですが、例外として25曲入りのディスクのときのみ25曲目もプログラムすることができます。
- ディスプレイに「RANDOM」^{5分?}表示されない場合は、セットされたテープでは録音時間不足のため、プログラムできないことを示しています。長時間録音のできるテープに変え、再度セットしなおしてください。

■プログラム演奏中の選曲操作

プログラム演奏中にSKIPキーを押しますと、セットされたプログラムの順に前後の曲の頭出しをすることができます。また、テンキーを使いますと、プログラムに関係なく曲の頭出しをすることができます。

■プログラム演奏中の早送り、早戻し

"▷▷"または"◁◁"キーを使いますと、プログラムに関係なく早送り、早戻しをすることができます。

■プログラムのチェック

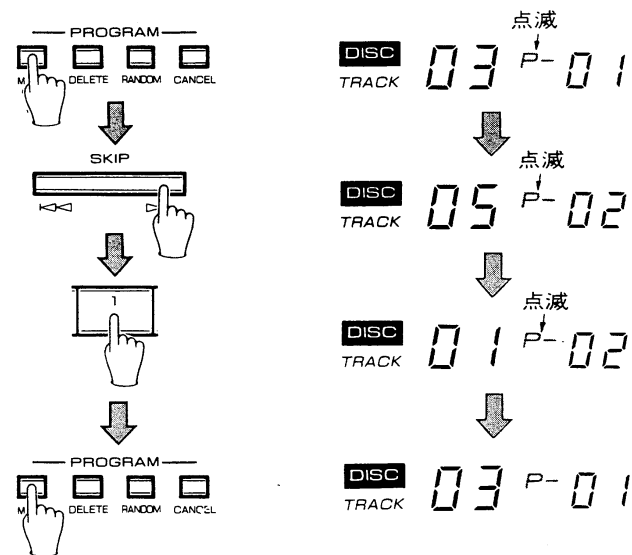
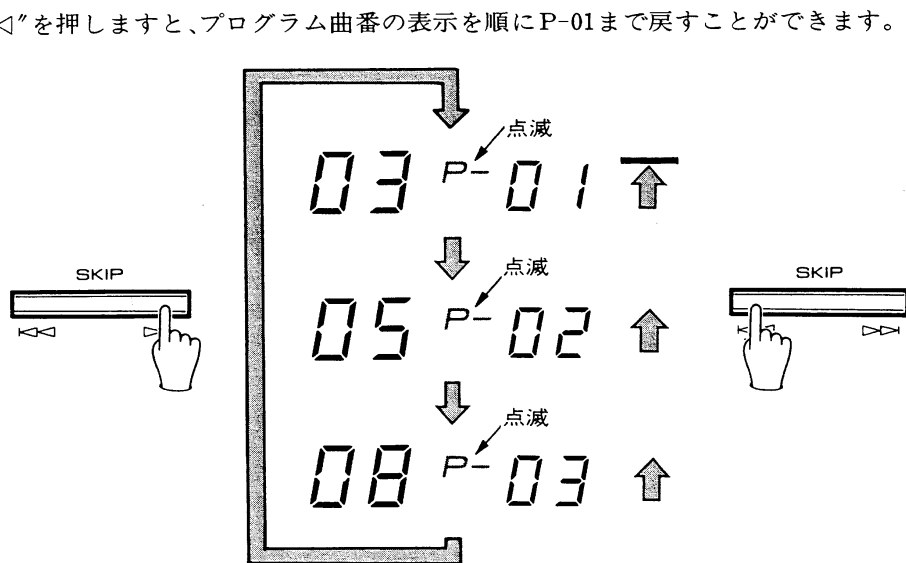
ストップ状態にして、マニュアルプログラムの場合はMAN'Lキー、デリートプログラムの場合は、DELETEキーを押してからSKIPキーの"▷▷"を押しますと、押すごとにP-01から順にプログラム曲番が表示され、プログラムのチェックができます。最終のプログラムを表示後はP-01の表示に戻ります。

"◁◁"を押しますと、プログラム曲番の表示を順にP-01まで戻すことができます。

■プログラムの変更のしかた

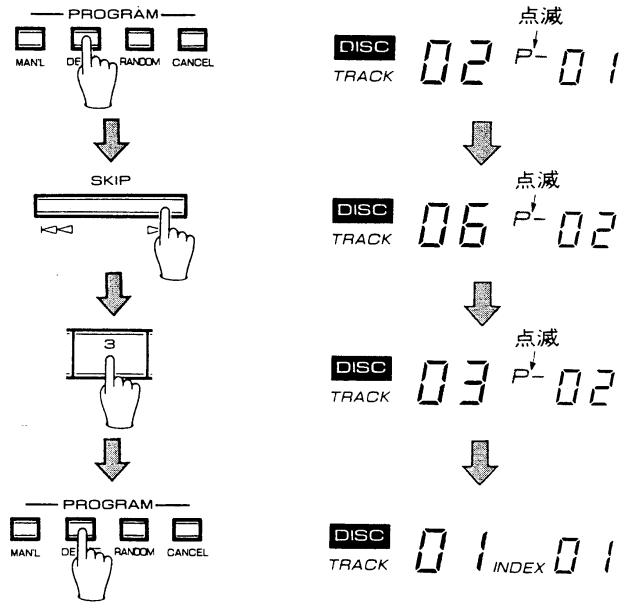
- 1 STOPキーを押し、ストップ状態にします。
- 2 マニュアルプログラム（テープマニュアルプログラム）を変更する場合は、PROGRAMのMAN'Lキーを押します。
デリートプログラムを変更する場合は、PROGRAMのDELETEキーを押します。
- 3 SKIP (◁◁または▷▷) キーで変更したいプログラムをディスプレイに表示させます。
- 4 テンキーで新しい曲をセットします。
前のプログラムは消え、新しいプログラムに変更されます。
- 5 MAN'LまたはDELETEキーを押します。

□例 マニュアルプログラム（テープマニュアルプログラム）のP-02曲番5を曲番1に変更するには



ランダム演奏

例 デリートプログラムのP-02曲番 6 を曲番 3 に変更するには

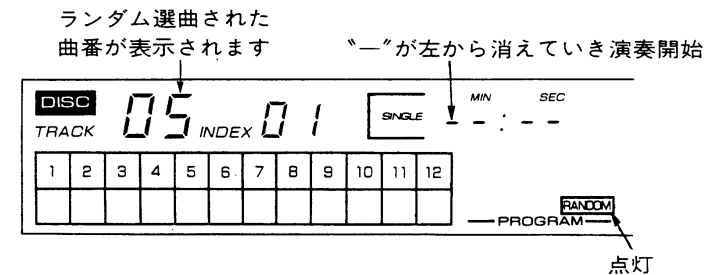
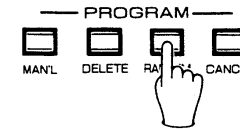


プログラムの解除のしかた

- プログラムのセット中および演奏前はCANCELキーを、演奏中はSTOPキーを押して、ストップ状態にし、CANCELキーを押しますと、すべてのプログラムは解除されます。
- マニュアルプログラムのセット後にストップ状態にしてDELETEキーを押しますと、デリートプログラムのセットモードになると同時にマニュアルプログラムは解除されます。
- デリートプログラムセット後にMAN'Lキーを押しますと、デリートプログラムは解除されます。
- マニュアルプログラムおよびデリートプログラムは、電源をOFFにしてもメモリーされています。
- すべてのプログラムは、ディスプレイを開きますと解除されます。

- ディスクに収録されている曲を本機が順不同に並べ換えて演奏します。
- ランダム演奏は一度演奏が終了しますと、通常の演奏に戻ります。

- 1 STOPキーを押して、ストップ状態にします。
- 2 PROGRAMのRANDOMキーを押しますと、ランダム演奏がスタートします。



- ランダム演奏時は、オートスペース機能の働きにより、曲間に4秒間のスペース（無音部分）が自動的に挿入されます。
- ランダム演奏は、もう一度PROGRAMのRANDOMキーを押しますと解除されます。
- STOPキーを押しますとランダム演奏は解除されストップ状態になります。
- ランダム演奏中はインデックス演奏できません。
- ランダム演奏は電源をOFFにしてもメモリーされています。
- ランダム演奏中にSKIP <>キーを押しますと、ランダム演奏の終わっていない曲を選曲し、演奏します。またSKIP <<>キーを押しますと、演奏中の曲の頭に戻り、再びその曲を演奏します。

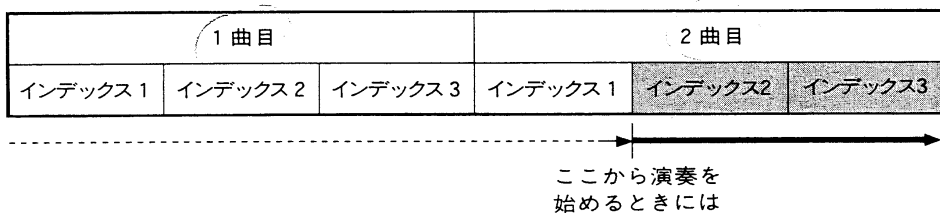
インデックス演奏

■リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

インデックス番号（クラシック曲の第何楽章など）が設定されているディスクの場合は、お好みのインデックスから演奏をスタートさせることができます。

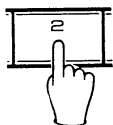
- インデックス番号が記録されているディスクには **IN:DEX** マークがディスクの解説書に記載されています。ディスクの解説書をお確かめください。

例 2曲目のインデックス2から演奏を始めるときには



1 テンキーでインデックス演奏する曲番を指定します。

この場合は2です。



02 INDEX 01

2 INDEXキーを押します。

“INDEX 01”表示が“INDEX__”表示となり、インデックス指定モードになります。

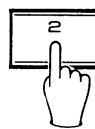


02 INDEX _ _

3 テンキーで、演奏を始めたいインデックス番号を指定します。

この場合は2です。

これでインデックス2のサーチが開始されます。サーチが完了した時点でINDEXインジケータが点滅から点灯に変わり、インデックス演奏がスタートします。



02 INDEX 02
点滅から点灯

インデックスの解除

- インデックスの指定モードはINDEX__表示（またはINDEX指定待ち）に再度INDEXキーを押しますと解除されます。
- インデックス指定モードのまま、PLAYキーを押して演奏をスタートさせた場合は、インデックス指定モードは解除されます。
- インデックスの指定後、INDEXインジケータが点滅している間に再度INDEXキーを押しますと、インデックス演奏は解除され、指定した曲の頭から演奏が開始されます。
- インデックス演奏は、指定した箇所の少し前から演奏することがあります。
- インデックス演奏が開始されると、自動的にインデックス指定モードは解除されます。

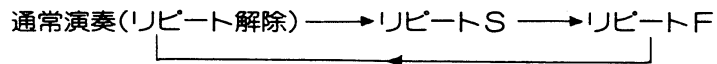
- 曲番が指定されていないと、インデックスの指定はできません。
- ディスクに記録されているインデックス番号より大きな数を指定した場合は、指定された曲の最大のインデックス番号から演奏を開始します。
- インデックス番号の記録されていないディスクの場合は、インデックス番号1を表示し、指定された曲の頭から演奏を開始します。
- インデックス演奏は、開始するまでに多少時間がかかることがあります。

リピート演奏

■リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

●ディスクの全曲、一曲あるいは聞きたい部分だけをリピート（繰り返して）演奏することができます。

●REPEAT S/F/OFFキーは、押すごとにS(シングル：一曲)、F(フル：全曲)、リピート解除に変わります。



一曲リピート：指定した一曲をリピート演奏します。

全曲リピート：ディスクの全曲をリピート演奏します。

A↔Bリピート：指定した任意の2点間をリピートします。

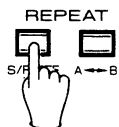
プログラムリピート：マニュアルプログラム演奏やデリートプログラム演奏もリピート演奏をすることができます。

一曲リピート

演奏中の曲をリピート演奏します。

1 SKIPキーまたはテンキーでリピートさせたい曲を選びます。

2 REPEAT S/F/OFFキーを押し、ディスプレイのS REPEATインジケータを点灯させてください。



3 PLAYキーを押しますと、一曲リピート演奏がスタートします。

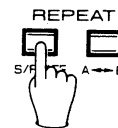
●演奏中にREPEAT S/F/OFFキーを押しますと、その曲が一曲リピートになります。

●マニュアルプログラム演奏中、デリートプログラム演奏中およびランダム演奏中にも一曲リピートをすることができます。

全曲リピート

ディスクに収録されている全曲をリピート演奏します。

1 REPEAT S/F/OFFキーを押し、ディスプレイのF REPEATインジケータを点灯させます。



2 PLAYキーを押しますと、全曲リピート演奏がスタートします。

●マニュアルプログラム演奏、デリートプログラム演奏も全曲リピートすることができます。

●ランダム演奏の場合は、一回目のランダム演奏終了後に、新たなランダム演奏に入ります。

■一曲、全曲リピート演奏の解除

REPEAT S/F/OFFキーを押し、S REPEATまたはF REPEATインジケータを消灯させてください。

また、ディスクトレイを開閉したり、電源スイッチを切りますとリピート演奏は解除されます。

タイマー演奏

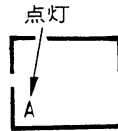
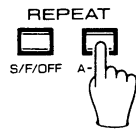
A↔Bリピート

指定した任意の2点間をリピート演奏することができます。

- 1** 演奏中に、リピートさせたい箇所になりましたら REPEAT A↔Bキーを一度押します。

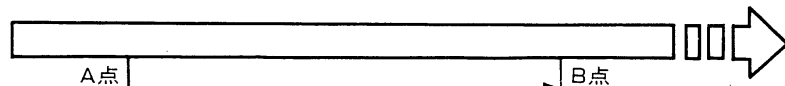
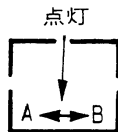
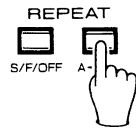
A点が設定されます。

- A点はポーズ中にも設定することができます。



- 2** リピートを終えたい箇所になりましたら、再度REPEAT A↔Bキーを押し、B点を設定します。

B点が設定されると同時にA↔Bリピート演奏がスタートします。



この2点間を繰り返し演奏します

■A↔Bリピート演奏の解除

再度A↔Bキーを一回押しますと、A↔Bリピートは解除されます。

別売のオーディオタイマーと組み合わせると、希望の時間に演奏を始めることができ、お好みのディスクで目覚まし再生を行なうことができます。

- ①本機の電源プラグをアンプのリアパネルのコンセントに接続します。
- ②アンプの電源プラグをタイマーの連動コンセントに接続します。
- ③本機の電源スイッチを入れてディスクをセットし出力レベルを調整します。
- ④アンプの電源スイッチを入れてINPUT SELECTORをCDにし、アンプの音量を調整します。
- ⑤タイマーで演奏開始時間と終了時間をセットします。

(このとき、各機器の電源が切れたことを確かめてください。)

*タイマーで時間をセットする方法は、タイマーの取扱説明書をご覧ください。

以上でタイマーにセットした時刻がくると自動的にランダム演奏、マニュアルプログラム、デリートプログラムされている場合は各々のプログラムの1曲目から、またプログラムされていない場合は、ディスクの第一曲目から演奏が始まります。

*テーププログラム演奏、リピート演奏はできません。

—メモリーバックアップについて—


本機は、タイマー演奏時や電源OFF時にメモリー内容(ランダム演奏、マニュアルプログラム、デリートプログラムなど)を保持するためにスーパーキャパシターを内蔵しています。

長時間本機をご使用にならない場合は、キャパシターが放電し、メモリー内容が消えることがあります。

*メモリーバックアップの期間(1時間以上電源をONにした場合)は7日間程度です。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのラベル面を上にして入れてください
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作が間違っている	アンプのスイッチの位置を確認してください
音飛びがする	本機が震動やショックを受けている	設置場所をかえてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力コードのプラグの接続不良	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
テープマニュアルプログラムをしたがカセットテープにうまくダビングできない	テープサイズのインプットが間違っている	テンキーを使ってテープサイズを正しくインプットしてください
テープオートプログラムをすると“Err”表示が出る	テープの収録時間が短くプログラムできないため	長時間録音のできるテープに替えてください
 リモコンユニットでは操作できない	乾電池が消耗している	インジケーターが点灯しないときは、乾電池を2本とも交換してください
	送信機が受光部に向いていない	リモコンユニットを受光部に向けてキーを押してください
	本機を設置している場所の照明が明るすぎる 受光部に強い光が当たっている	照明を消すか、暗くしてからキーを押してください。

参考仕様

■型式 コンパクトディスク・デジタル・オーディオ・システム

■オーディオ特性

周波数特性	2 Hz～20kHz±0.3dB
ディエンファシス偏差	±0.3dB(EIAJ)
高調波歪率+雑音	0.003%以下 1 kHz(EIAJ)
SN比	120dB(EIAJ)
ダイナミックレンジ	100dB以上(EIAJ)
ワウ・フラッター	測定検知限以下
チャンネル・セパレーション	96dB以上 1 kHz(EIAJ)
出力電圧	2 V(EIAJ)
出力インピーダンス	600Ω
ヘッドホン出力電圧(150Ω負荷)	-20dB 450mV

■方式

光ピックアップ	3 ビームレーザー
エラー訂正方式	CIRC. 2重エラー訂正方式
D/A変換	18ビットフローティング(L,Rツイン)
フィルター	デジタルフィルター+ 3次ニューアクティブフィルター
ディスプレイ	蛍光表示管

■機能

頭出し	"◀◀"・"▶▶"キーによる順次頭出し テンキーによる頭出し テンキーによる指定
インデックスサーチ 音出しサーチ(演奏時)	"◀◀"・"▶▶"キーによるサーチ 2段階スピード自動切換
ポーズ	ポーズキーを1回押す
ストップ	ストップキーを1回押す
総演奏時間表示	TIME DISPLAYキーにて
演奏残り時間表示	//
プログラム機能	マニュアルプログラム(24曲) デリートプログラム テープマニュアルプログラム(CCTP) テープオートプログラム(CCTP) プログラム総演奏時間表示機能
オートスペース機能 リピート	ランダム演奏時、プログラム演奏時、約4秒間の曲間スペース 1曲、全曲またはプログラム全部のリピート A↔Bリピート、ランダムプレイリピート
タイマープレイ	ディスク装着時パワーONで演奏開始

■総合

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	20W
外形寸法(W×H×D)	435×112×357(mm)
重量	11.8kg
付属品	出力コード リモコンユニット(RS-CD10) 乾電池 単3(SUM-3)×2

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りの

YAMAHA 電気音響製品 サービス拠点へお持ちください。

（右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。）

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また**製品の品名、製造番号**などもあわせてお知らせください。※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

（電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口）

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 TEL(011)513-5036
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(025)243-4321
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F 東北営業所 TEL(022)223-3101
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F 特販営業所 TEL(03)255-1825 首都圏第一営業所 TEL(03)255-5691 首都圏第二営業所 TEL(03)255-5691 神田営業所 TEL(03)255-6767 販売二課 TEL(03)255-2302
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル 北関東営業所 TEL(025)241-2084
千葉	〒260 千葉市千葉港2-1 千葉コミュニティセンター1F 千葉営業所 TEL(0472)47-6622
神奈川	〒211 川崎市中原区木月1184 ヤマハ日吉センター内 神奈川営業所 TEL(044)434-4871
浜松	〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ッ池センター内 浜松営業所 TEL(0534)71-1207
名古屋	〒464 名古屋市千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 中部営業所 TEL(052)782-7551 販売二課 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内 関西営業所 TEL(06)647-6411 日本橋営業所 TEL(06)647-6411 中央営業所 TEL(06)647-6411 販売二課 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよぎん広島ビル内 中国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 ホームエレクトロニクス事業本部 お客様ご相談センター TEL(0534)60-3421

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

国内販売統括部 TEL.(0534)60-3421

生産管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA